

よねざわ



新病院
建設事業

地域医療の充実を目指して

米沢市立病院と三友堂病院の両病院で進められている新病院建設事業の基本設計がまとまりました。7月25日(土)には市民文化会館で市民説明会が行われ、新病院建設の概要などが話されました。

市立病院

三友堂病院

新病院の主な特徴



医療連携

- ・両病院での**機能分担と医療連携**
- ・市立病院は 24 時間 365 日の救急医療を含めた急性期医療を担う
- ・三友堂病院は回復期医療、在宅医療を担う



災害時にも
安全・安心

- ・免震構造にすることで、利用者の安全性や診療の継続性を確保
- ・市立病院は**災害拠点病院**を目指し、必要な設備などを整備



敷地の有効利用

- ・敷地中央に全ての建物をコンパクトに配置
- ・南側駐車場を **250** 台程度、北側駐車場を **450** 台程度、地下駐車場を **60** 台程度確保

西側から見たイメージ

Q：いつ開院する予定ですか？

2023年(令和5年)の秋に両病院が同時開院します。また、新病院の建設工事は**2021年6月中旬**から開始する予定です。開院後は両病院の解体工事などが順次行われることになっています。

Q：どこに建設されますか？

現在の市立病院の敷地(相生町・福田町)です。三友堂病院も移転して新病院を建設します。

建設敷地を確保するために、現在の市立病院南側正面玄関前の市道を廃止し、敷地の北側に新たな市道を建設します。

Q：病床数はどのくらいありますか？

市立病院が 270 床程度、三友堂病院が 199 床、**合計 470 床程度**を予定しています。

新病院施工予定者の選定に関する公開方法

市立病院と三友堂病院では、新病院の建設に向け ECI 方式*を採用して施工予定者を選定します。当初は選定のためのプレゼンテーションを一般公開で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関係者のみで行います。なお、後日動画などで一般に公開します。詳しくは、両病院のホームページなどでご確認ください。(※ ECI 方式：実施設計を行う段階から建設工事を行う施工予定者を選定・参画させ、技術協力を受けることでコスト縮減や工期短縮を図る方式)

新病院の建設
詳細はこちら

